



便り

私のキャッチフレーズ

「世話やかれ単身ばばの支えあい」世話やきおばさんが世話やきはあさんとなり、老いて従う子はすでに飛び立ち、今では独居老人に。幸せな世話やかればばは夢のまた夢。「東京だよ、おっかさ」と言ってくれる子はいないので、地域で支えあう80代4人でお気楽に東京見物。この分たのみんな100まで生きてピンピンコロリと逝くでしょう。
(名華女)

「賞味期限切れ」若い頃は「山椒は小粒でもじりりと辛い」でしたが、年とともに様変わり。最近「気の抜けたわさび」「賞味期限切れ」の言葉が気になります。人生の消費期限の切れるまで頑張ってみましょう。
(Gノラン)

「あるがままに生きる」余生を生きている自分には足りない所を探して無理して補う時間は勿体ない。「あるがまま」の自分を素直に認めて余生を生きる。ただし、妥協とあきらめは御法度とする！自分自身を大切に丁寧にをモットーに「あるがままに生きる」。ご迷惑をかけましたらごめんあそばせ。
(すみちゃん)

「筋金入りキューピー人形」柔らかいので近づいて触ってみてください。気に入ったら中を探ってみてください。案外面白い発見ができるかもしれませんよ。でも、取り扱いには十分注意してくださいね。
(Tiga)



No.30



△ハモン博士のまとめ

キャッチフレーズとは、ひと言で表すうたい文句のことじゃそうな。時にはその言葉が自分を支え、励ましてくれることもある。皆さんにもあるかの？無ければ自分を表現する手段として、一度自身のキャッチフレーズを考えてみてはどうじゃな。



問合せ

おおくち男女共同参画懇話会 (地域協働課)
☎95-1691

「いつも心に太陽を」ふた昔ほど前に新御三家と言われたアイドル歌手が歌っていた曲名。歌詞は全く覚えていないが、このタイトルだけは印象的だった。当時中学生だった私に何がそこまで響いたのか今となっては記憶にない。でも、それからずっと心の拠り所となる言葉。何となく心があつたかく元気になれる気がする。
(チャーミー)

「むっつりイクメン」仕事と趣味はしっかりやって、家や子どものことは奥さんに任せきりかよ...と見せかけて、実は結構やっています。大変な素振りを見せず、さりげなくこなすのがイクイクメンへの道。
(俺)

Be Ambitious vol.286

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場！

挫折を乗り越えて

伊藤 龍太郎さん(余野) H4・8・4生



英語の勉強を続けて

中学校で英語の常勤講師を勤め4年目となります。英語の教師になりたいと思ったきっかけは中学3年生の時の英語の先生です。中学2年の頃、暗記が苦手で成績がぐっと下がった時期がありました。その翌年に教わった先生の授業が非常に面白く、会話がメインでまるでゲームをしているような感覚で楽しく英語を学ばせてもらえました。先生との出会いが英語教師になった今と繋がっています。

大学時代は思いのほかTOEICの成績があがらず、悔しい思いを何度も経験しました。留学したい気持ちが強かったので、毎日遅くまで必死に勉強し、3年目にして目標の

点数がとれ念願かない留学することができました。

留学先はイギリスのリーズ

待ち望んでいた留学でしたが、他国の人の積極的な空気へのまれ、最初の数週間は大変に入ってしまった。心配したホストマザーが「まずは私たちと話すところから始めよう」と自分のつたない英語を理解してくれようと接してくれ、徐々に恐がらずに積極的に話せるようになり、伝えようとする気持ちの大切さを学びました。

今までステップが上がる度に壁にぶつかってききましたが、その度に努力して乗り越えてきました。生徒たちにもあきらめない気持ちを伝えていきたいです。



▲留学先でホストファミリーと